

## 「第42回在日朝鮮学生美術展」島根展 開催趣意書

この美術展は、朝鮮（民族）学校で学ぶ幼稚班（幼稚園）から高級部（高校）の子ども達の美術作品の展示を通して、民族学校教育の一端を広く理解してもらおうと、「在日朝鮮学生美術展覧会実行委員会」が全国各地で開催されてきたものです。朝鮮（民族）学校がある都道府県では、過去41回にわたり全国巡回方式で開催されてきました。朝鮮（民族）学校のない鳥取県でも市民から開催の声が上がり、2009年の第37回から倉吉・米子・鳥取市で過去5回開催されてきました。

島根県松江市には、1975年法人認可された山陰朝鮮初中級学校がありましたが、1999年に岡山県倉敷市の岡山朝鮮初中級学校に統合され、島根県や鳥取県に住む在日コリアンの子ども達は、岡山で寄宿舎生活をしながら学ぶ状況となりました。

このような中で、現在全国の朝鮮（民族）学校で学ぶ子ども達の生き生きとした姿を美術作品を通して感じることは、多くの在日コリアンの思いや願いを知り感じることに通じるものと思います。しかも、現在朝鮮（民族）学校がない山陰地方において、民族教育の取り組みの様子を知りより深く理解することは、県民の外国人問題とりわけ在日コリアンへの更なる理解と関心を深めるためにも有意義な機会といえると思います。過去に民族（朝鮮）学校があった島根県松江市で初めての開催となる今回の巡回展は、以上の理由からより意義多いものと考え、開催することとなりました。

- (1) 開催期間 2014年2月13日（木）～16日（日）  
午前10時～午後6時 最終日（午後5時まで）
- (2) 開催場所 島根県立美術館 1階 ギャラリー2・3（松江市袖師町1-5）
- (3) 開催概要  
全国巡回展の作品（幼稚班・初級部・中級部・高級部の学生、平面作品・立体作品、）  
約400点を展示。（13日の開会行事後、作品説明会を開催予定。開催期間中、  
指導者・制作者のギャラリートークを予定）
- (4) 入場料 無料

### 「第42回在日朝鮮学生美術展」島根展実行委員会

島根地区世話人	赤井 吉雄	渡部 通恵
	森 昌義	梁 成烈
鳥取地区世話人	仲野 誠	西尾 富次
	任 国主	三谷 昇

2013年12月1日